

# 高密度標高データ整備

(概算要求額 110,403千円)

## 【背景・目的】

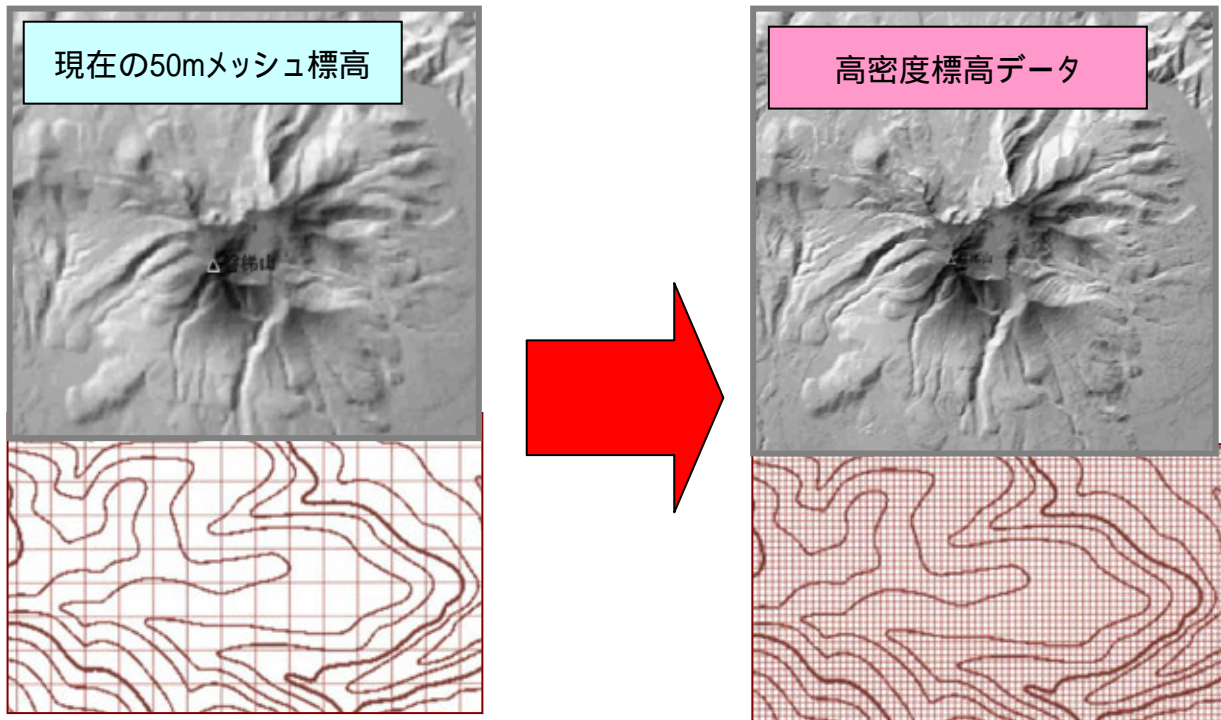
コンピュータ・GISソフトの普及により、様々な分野で地理情報の需要が高まりを見せている。特に標高データは応用範囲が広く、様々な分野で頻繁に活用されているが、現在刊行している標高データでは密度が低いため、より詳細なデータに対する要望がある。2万5千分1地形図の等高線データには詳細な地形情報が含まれており、より高密度な標高データを作成することが可能。

## 【施策の概要】

都市計画区域を除く地域を対象に現在刊行中の50mメッシュ標高データより25倍に高密度化された標高データを整備し、提供する。

## 【効果】

防災、環境分野をはじめ電気通信、農業、気象等様々な分野で、より詳細なシミュレーションが全国規模で可能となる。基本測量成果として刊行することにより、行政、産業、教育研究、個人等広く社会一般へ普及し、GISの利活用環境が広がり、豊かな国民生活に大きく資する。



高密度化により、様々な分野で標高データの活用！！

電気通信

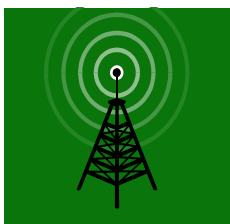
景観

GIS

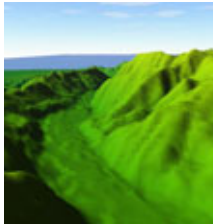
防災・研究

農業

気象



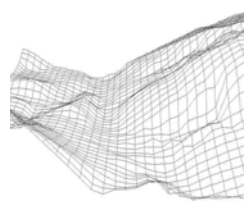
電波シミュレーション



3Dシミュレーション



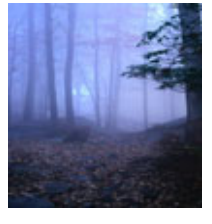
オルソ作成支援



地形解析の高度化



シミュレーション



局所モデル